

令和3年特殊詐欺被害認知状況およびAI型特殊詐欺対策 アダプタの運用状況等について

1 特殊詐欺被害認知状況

(1) 被害認知状況（令和3年1～12月）

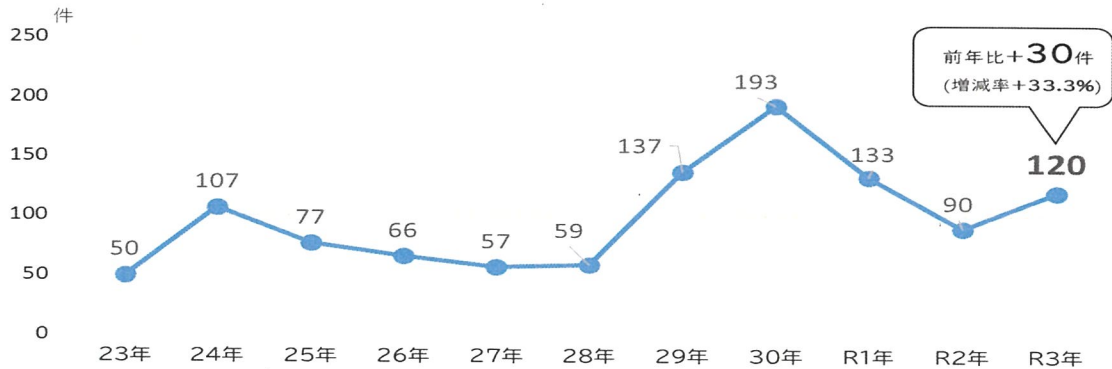
ア 都内

	オレオレ	預貯金	還付金	詐欺盗	架空請求	融資等	合計
認知件数	815	777	891	652	164	20	3,319
前年比	+249	+99	+191	-88	+5	-33	+423
被害額(万円)	約66億2,000万円						
前年比	+約2億8,000万円						

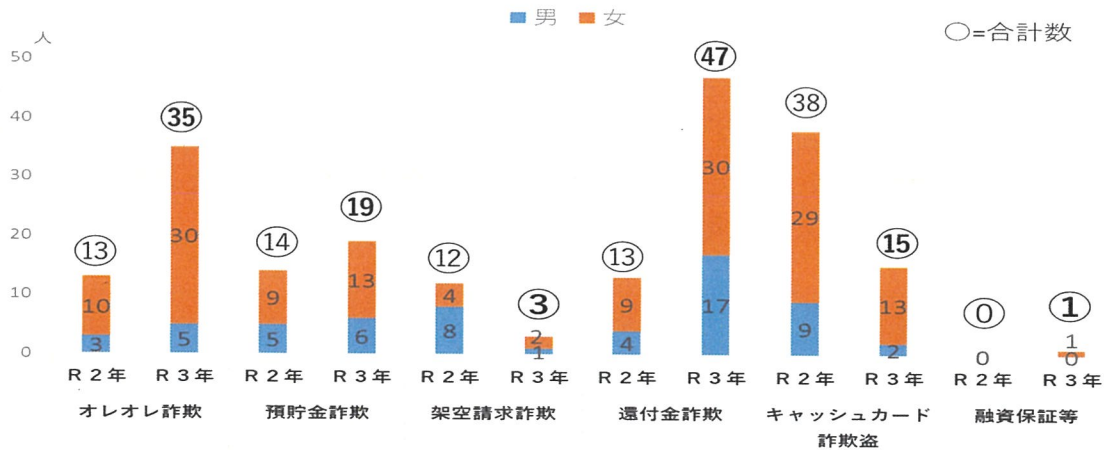
イ 区内

	オレオレ	預貯金	還付金	詐欺盗	架空請求	融資等	合計
認知件数	35	19	47	15	3	1	120
前年比	+22	+5	+34	-23	-9	+1	+30
被害額(万円)	約1億8,000万円						
前年比	+約5,000万円						

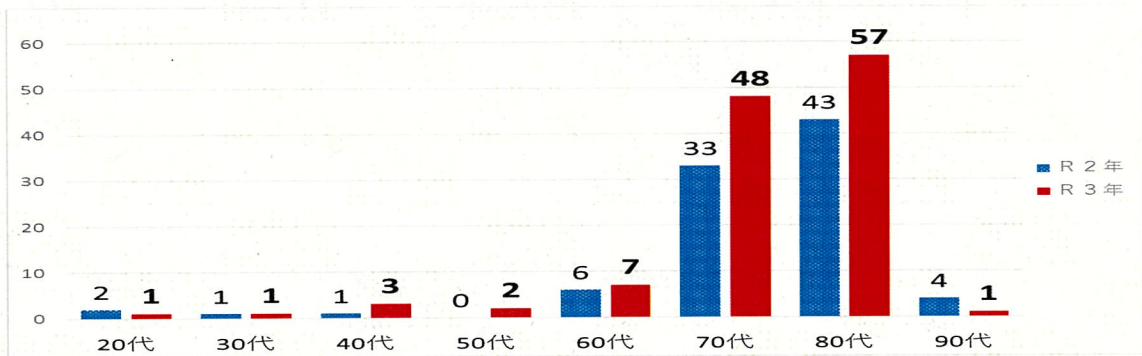
(2) 被害認知の推移



(3) 手口別認知状況（前年比）



(4) 被害者年齢別（前年比）



2 AI型特殊詐欺対策アダプタ運用状況等

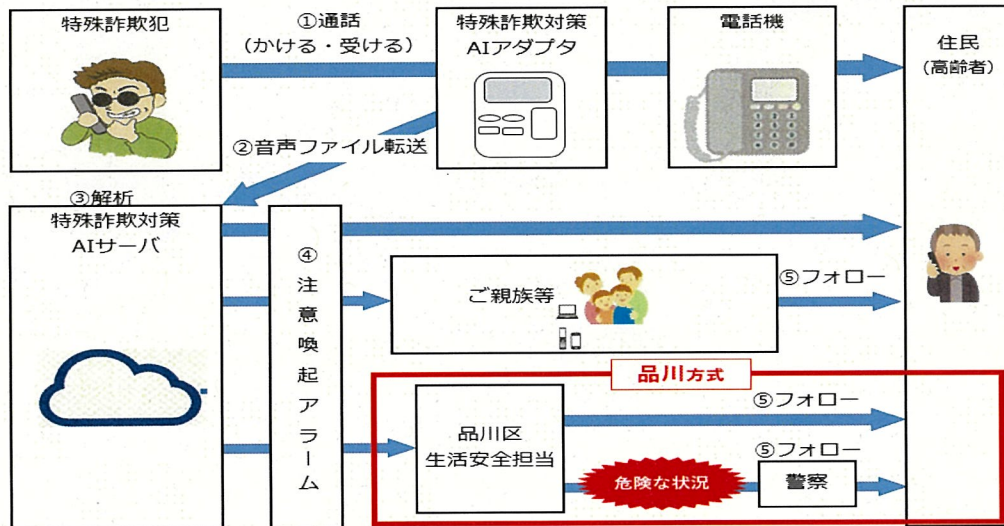
(1) 概要

NTT 東日本が提供する「特殊詐欺対策サービス」の機器設置費用(8,800円)を品川区が全額補助する事業(対象者:品川区在住65歳以上)

※ 令和3年度予算 44万円(8,800円×50台)

令和3年8月から設置を開始 現在まで17件設置

(2) 品川区方式



(3) 被害防止事例

令和4年1月6日、品川区の補助事業で設置したAI型特殊詐欺アダプタが、危険な電話内容を検知し、通報を受けた品川区が登録者に確認したことで、犯人からのアポ電であることが判明、荏原警察署が騙されたふり作戦を実行し、現金を受け取りに来た犯人を逮捕したもの。

(4) その他

- ア 品川区における発報受理体制の確立
- イ 警察との連携